

桜舞う中、みゆき大祭

神埼町櫛田宮の2年に1度の神事「みゆき大祭」が、4月7日、8日の2日間にわたって華やかに行われました。この大祭は、7～800年ほど前から、現在の神崎市郡のほぼ全域と三養基郡の一部にまたがる大荘園、神埼荘（かんざきのしょう）あげての神事として執り行われてきたものです。



今年は、大祭の先払いの太神楽(県重要民俗文化財)を尾崎西分地区が担当し、続いて奴さん、八乙女などの締元行列(市重要無形文化財)を、



二丁目、本堀、野目ヶ里などの2組が担当。8日午後1時からの「お上り」では、桜が咲き誇る下の宮から櫛田宮まで、うららかな陽気の中、約700人が列をなして練り歩き、多くの見物客が詰めかけました。

長崎市から写真を撮りに来た男性は「獅子が長く、高さもあって珍しい。初めてでうまく撮影できなかったのでまた来たい」と話していました。

この日は7回目となる櫛田の市も合わせて開催され、農産物や雑貨など約40店舗が出店、かつの市さながらの賑わいを見せました。

神崎市消防団入隊団式

平成24年度神崎市消防団入隊団式が、4月15日、神埼中央公園グラウンドで行われました。

今年度の退団者は70人、新たに入団したのは54人です。

式に先立ち行われた春期訓練では新入団員も参加し、まわれ右などの基本動作や通常点検訓練、ホースの扱い方などを練習し汗を流しました。

式では、退団者の代表が「これからも消防団の責務と使命達成の為に努力してください」とあいさつ、続いて新入団員の代表が「消防の任務を遂行することを誓います」と高らかに宣誓しました。



中学生剣士の熱気があふれました

3月29日、神埼中央公園体育館で神崎市長旗第23回全国選抜中学生剣道大会が開催されました。緊張感に包まれた会場では、中学生たちの熱気に満ちあふれ、息をのむような試合が展開されました。

春の選抜大会として、北海道から沖縄まで全国各地の強豪チームの選手、監督約1,300人が参加しました。また東日本大震災の被災地から参加された宮城県の佐沼中、福島県の野田中へ、全参加チームのキャプテンが復興を願う言葉を書いた寄せ書きを贈りました。



武者飾り、勇壮に

4月11日から神埼町老人憩の家2階大広間で、武者人形と武者のぼりが展示されています。

この武者飾りは職員や利用者らから提供されたもので、3月に雛人形を飾ったところ大変好評だったことから、今回初めて企画され

ました。

飾りを見た利用者たちの間でも、「この侍は誰だろう」「今度は友達も連れてきたい」などと話が弾んでいたということです。

展示は5月12日まで行われる予定で、担当職員は「温泉と合わせて楽しんでほしい」と来館を呼びかけていました。



王仁博士生誕地を訪ね交流

神崎市と神崎市観光協会が一体となって、神崎町竹原地区にある「王仁天満宮」を観光資源として掘り起こすことで地域活性化に活かすため、論語、千字文（漢字）、技術工芸の伝授など、百済文化を日本に伝えたといわれる王仁博士の生誕地である大韓民国霊岩郡を4月5日から7日までの3日間で訪問しました。



これまで、8月にツアーを行っていましたが、4月に行われる2012年王仁博士春享大祭への招待があり、今回初めての参加となりました。

訪問には、神崎市議会、王仁天満宮のある神崎町竹原地区の有志を含め、43人が参加しました。

初日には、訪問団が釜山到着後約4時間半かけて王仁博士の生誕地である全羅南道霊岩郡に移動し、霊岩郡郡守および郡議会議長を表敬訪問し、交流を深めました。



翌日の大祭当日は、日本から王仁博士のお墓がある大阪府枚方市、大阪市日韓親善協会などの来賓が出席される中で、伝統的な衣装の韓服を身にまとい、厳かに式典が進められました。

また、王仁文化祭の開幕式では、一般市民も交え、王仁博士の功績をたたえたセレモニーが行われ、神崎市長は、枚方市副市長とともに友好を深めるため、このほり掲揚に参加しました。

今後とも王仁博士の調査研究を行うことで、市民への顕彰と王仁天満宮周辺の整備などについて検討していきたいと考えています。

入学おめでとう！

神崎市の小中学校で入学式があり、小学生312人、中学生305人が新しい学校生活のスタートを切りました。

◇笑顔も晴れやかに

4月10日に神崎、仁比山、西郷、千代田東部、千代田中部、千代田西部小学校で、翌11日に脊振小学校で入学式が行われました。

このうち41人が入学した千代田西部小学校では、真新しい、少し大きめの制服に身を包んだ新1年生が、保護者に見守られながら、新たな一歩を踏み出しました。



式では、教科書や防犯ブザーなどとあわせて、記念品として『次郎物語』の第一部が贈呈され、在校生を代表して、6年生の女子児童が「千代田西部小には3つの宝があります。元気な挨拶、大きな歌声、素直な心です。一緒にこの3つの宝を大切にしましょう」とお祝いの言葉を述べました。

◇力強く誓いの言葉



新入生代表が、「部活動や勉強に一生懸命励み、これから3年間を悔いのないよう過ごします」と、力強く誓いの言葉を述べました。

市内3つの中学校では4月11日に入学の日を迎えました。

このうち173人が入学した神崎中学校では、

デイサービス利用者が交通事故防止を呼びかけ



春の交通安全県民運動にあわせ、4月6日、脊振警察官駐在所前で、神崎市社会福祉協議会の協力を得て「交通安全の街頭キャンペーン」が行われました。

キャンペーンでは、社会福祉協議会のデイサービス利用者が手作りした交通安全グッズ等を「事故には気をつけてください」と呼びかけドライバーに配布しました。

千代田中学校に交通安全グッズを寄贈

神崎市交通安全協会千代田支部（永沼彰支部長）から4月4日、自転車通学する全校生徒の交通事故防止に役立ててほしいと、道路での視認性を高める反射タスキが贈られました。

